

2024年4月号

Vol. 224

arch-tsushin

あーち通信

4月からあーちが変わります！

ちょっと



その1. 開館時間が変わります

10:30~16:00まで、終日利用できるようになりました。

(ランチタイム 12:00~12:45の間は、おもちゃで遊べません。)

その2. ランチタイムが変わります

12:00~12:45になります。15分短くなって、昼食後に続けて利用しやすくなりました。

その3. 情報コーナーが変わります

飲食ができるようになりました。電子レンジもご利用いただけます。

<清潔・安全な環境づくりに、みなさんのご協力をお願いします>

★入館時の会員カードの提出は、ご自身でお願いします。

★昼食用のマットやいすは、ご自身で準備・後片付けをお願いします。

★お口に入れたおもちゃは洗浄・消毒します。回収にご協力ください。

4月からの新しい取り組み

灘区保健福祉課の保健師さんが、月1回「あーち」に来てくれます。健康に関する短いお話のあと、個別に相談にも乗ってくれますよ！日ごろ気になることなど、気軽に話してみてもいいかもしれません。

日時:4月10日(水)10:30~11:30

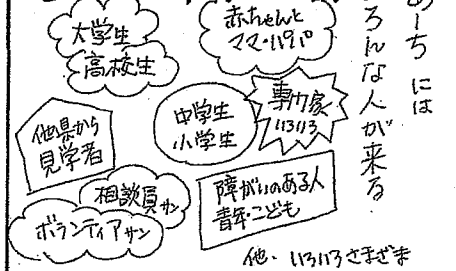
(5月以降は第3水曜日の予定)

『健康あーち』を担当している大学教員(公認心理師)が、毎月第1木曜日に「ふらっと」に入り、みなさんと交流します。子育てをするなかで感じる、ちょっとモヤモヤする気持ちや、健康にまつわることなど、ゆっくりお話しをしてみませんか？

日時:4月4日(木) 午前中

えんじとる君II by Bon

出会うの場:あーち



神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

4 月 予 定 表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	月	休 館	
2	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
3	水		
4	木		健康あーち(相談)午前中
5	金	よる・あーち 17:00~19:20	
6	土	プラレール広場 10:30~16:00	あらかると音楽遊び 14:30~15:00
7	日	休 館	
8	月	休 館	
9	火		小林さんの"ふらっとであそぼう!" 11:00~11:20
10	水		保健師さんとお話しましょう 10:30~11:30
11	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
12	金	よる・あーち 17:00~19:20	
13	土	おはなしの国 11:00~11:30	
14	日	休 館	
15	月	休 館	
16	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
17	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
18	木	パパママほっと 10:30~12:00 (ゆーす・あーち)	
19	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
20	土	プラレール広場 10:30~16:00	
21	日	休 館	
22	月	休 館	
23	火		小林さんの"ふらっとであそぼう!" 11:00~11:20
24	水	月イチwith 10:30~12:00	
25	木		
26	金	よる・あーち 17:00~19:20	
27	土	おもちゃ病院 13:30~15:30	
28	日	休 館	
29	月	休 館	
30	火		

・プログラムはすべて自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。

※ベビーマッサージに参加される方は、バスタオルを1枚お持ちください。また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、10:45ごろにご来館ください。

※ベビーマッサージの時間は、参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。プログラム優先となりますのでご了承ください。



＜あーち利用のご案内＞



利用時間 火～土10:30~16:00 (ランチタイム 12:00~12:45)
 ※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
 金曜日のみ 17:00~19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
 託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
 未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。

<プログラムのご案内>

- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに来ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国……………ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院……………ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません)
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★小林さんの“ふらっとであそぼう！”…保育士によるふれあい遊びや絵本の読み聞かせ。育児相談もできます。
- ★月イチwith……………参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★パパママほっと……………ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんの保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。
- ★プラレール広場……………広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ……赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち……………「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

クロスボーダー

～あーちで活動する学生たちの体験レポート～

3.あーちの魅力 伊藤聖矢

はじめまして。神戸大学大学院修士1年の伊藤聖矢です。私は昨年5月より「のびやかスペース あーち」でボランティアをしています。今まで障害を持つ方やその家族の方たちなどと継続的に接する機会がなかったため、行くたびにさまざまな交流があり、その面白さや難しさを感じています。私はあーちで活動する際に「積極的に話しかけること」を心がけています。あーちには、先述の方たちだけでなく、学生や社会人のボランティアの方々なども来ています。あーちでボランティアをする魅力の一つは、障害や性別、国籍、年齢や世代にかかわらず多様な方たちと交流ができる点だと思うので、積極的に声をかけることはとても大切だと感じます。私はESD(持続可能な開発のための教育)という教育学の一分野を勉強しています。そのなかでは、「交流」や「インクルージョン(包摂)」が大切なキーワードです。あーちでも大切なキーワードなので、これからも多様な人たちと交流をしていきたいです。

よる・あーちに参加している学生の体験レポートを、リレー形式でご紹介します。お楽しみに。

<ふらっと相談員>

水曜 午前 保健師・保育士
水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師



☎お電話でも相談できます

第36話「隣にいる人が違ってくると」

例えばカフェで休憩しているとき。隣にいる人が困っている様子があって、その人が外国人だったら、私は下手な英語で「need help?」と声かける。

もし高齢者だったら、ゆっくりと少し大きめの声で、「大丈夫ですか?」と言ってみる。

ボランティアさんという時と私という時では、おしゃべりする内容や口数が全然違うらしいのが長男です。私とはほとんどしゃべらないし、必要なことしか言ってくれないのに、ボランティアさんには、昨日見たテレビの話、今日の予定、忘れ物してしまったこと、パパがどうしたとかこうしたとか…。事実誤認していることや、勝手な妄想のようなことまで、ひっきりなしにしゃべり続けているって聞いて驚いたことも。

時と場所、一緒にいる人や場合によって、使う言葉やふるまい方が変わってくるは当たり前。

「わたし」は一人だけど、TPO に応じてキャラクターのバリエーション豊かになる。

長男の生活は自宅と学校の往復でした。学校が遠かったので放課後デイサービスの利用も難しい。平日夕方に気軽に遊ぶような友達も、親族も近所にはいません。

学校生活には満足していましたが、出会う人や行く場所、所属する集団が限られていたので、安心ではあったけれど、長男のキャラクターも限定的になっていたのかもしれない。

「今日はあーちへ行く」

毎週金曜の朝は、長男のほうから報告してくれます。私から聞くことは少なくなってきました。金曜の夕方、疲れているはずなのに、「行く」と言うのは彼なりに何らかの意義を感じ取っているのだと思います。

家から一歩出た、学校以外の「外の世界」。人が集まるところというのは目的とか意図とかが設計されているものだけど、あーちは、その目的のために利用者に何かを課すことはしていない(ように見える)ところが特徴かもしれない。

あーちにいる人は友達?先生?どちらでもない?よくわからない関係性。気まぐれに参加して、気まぐれに休んで。なんとなく気が合いそうな人を見つけて。何かに取り組んでもいいし、しゃべっているだけでもいい。みんなの様子をただ見ているだけの時もある。なんとなくお互い影響しあっている。

学校で気の置けない先生をからかったりする時の長男はちょっと悪い子。

優しい学生さんというときの長男は、無力な自分、健気な自分を惜しげもなくさらして、上手に甘えて、ちょっとずるい子。

ピアノを弾く人の隣に座ってたたずんでいる姿は、「ただそばにいますよ」と言っているようで、神聖な存在にすら見えてしまう。

そうかと思えば小さな子どもみたいにクレヨンで殴り描きをしている姿は、障害ある青年そのものだなあ、なんて思う。

隣にいる人によって変わる君。長男君、君は一体いくつの顔があるのかな??

あーちは自由に過ごせる場所だけど、無意識レベルで自分なりに目的を設定しているのかもしれないし、なんの指示も強制もない環境の中でどのようにふるまうかを探っているのかもしれない。ボンヤリしているようだけど、「自由」をどう扱うか。どんなキャラクターを使い分けようか、彼なりに考えているのだと思います。

明確な目的を持たず、自由な時間に来て帰っていく。ただ集まって、笑ったり、怒ったり、泣いたりして…。そんな環境と経験があまりにも少なすぎたまま、私は大人になってしまったのかもしれない。同じような人と、同じ時間に、同じ目的で集まってばかりで。しかも多くの場合、その目的は自分で選んだわけじゃない。貧弱な自分キャラクターしか持ちえなかったことが、日々の根底に潜む「なんとなくしんどいな…」に繋がっているのかもしれない。

